

再発防止策「教訓生かす」

浜名湖で2010年、県立三ヶ日青年の家のボートが転覆し、愛知県豊橋市の市立章南中1年西野花菜さんが死亡した事故は18日、発生から5年を迎えた。事故では悪天候での出航判断の是非や転覆後の救助の在り方が問われた。県などの関係機関は、教訓を生かすための取り組みを進めている。

「当時(12)が亡くなった事故は18日、発生から5年を迎えた。事故では悪天候での出航判断の是非や転覆後の救助の在り方が問われた。県などの関係機関は、教訓を生かすための取り組みを進めている。」

遺族「意識の継続」訴え

事故当時、同施設は注意報レベルの活動中止基準をマニュアルに定めていなかった。国の運輸安全委員会の事故調査報告書で、この不備を指摘され、12年に新マニュアルを策定。「1時間あたりの降雨量が20ミ以上」など訓練中止の具体的判断基準を盛り込んだ。14年度から指定管理者となった三ヶ日フィールドパートナーズは

定で救助訓練を実施。城田守所長(60)は「安全対策に終わりはない」と強調する。ただ、こうした中でも事故で中止した海洋活動の再開はめどが立たない。県教委は海洋活動を行う焼津市の県立焼津青年の家のマニュアルを見直し、活動中止の細かい判断基準を設けるなどしたが、三ヶ日青年の家の海洋活動再開は「未定」(社会教育課)。担当者は「遺族や利用者の理解、所員の力量などいろいろな条件がある」と慎重に判断する姿勢を示す。



豊橋市教委も事故を受け、市内各校に校外学習の実施計画や「次年度への安全管理上の引き継ぎ事項」の提出を義務付けるなど管理体制を強化した。こうした各機関の取り組み

えい航「マニュアル作らず

静岡地裁公判 元所長の前任者証二

2010年、浜名湖で起きたボート転覆事故で、業務上過失致死の罪に問われた同施設元所長の檀野清司被告(57)＝東京都＝の第4回公判が17日、静岡地裁(佐藤正信裁判長)で開かれた。檀野被告の前任の所長だった男性(61)の証人尋問が行われ、事故につながったボートのマニュアルなどについて「マニュアルなどは作らず、新たな所員に対

は午前中に雨が午後には大雨な意図が出ていた判断については報告令時の規定でなく、天候状態を認識しながら可容れ残りの移行後も訓練を重ねていくと思っていた」と話した。事故当日の現場付近

西野さんの父親友章さん(56)は「事故が起きない態勢が整ったと信じていた」と話す。一方で時間の経過や各機関の人事異動で最も大事な現場の危機管理意識が薄れることを懸念し「絶対に事故を起こさないという覚悟を持つてほしい」と訴える。

長だった男性(61)の証人尋問が行われ、事故につながったボートのマニュアルなどについて「マニュアルなどは作らず、新たな所員に対

浜名湖で県立三ヶ日章南中の西野花菜さん(当時12)が死亡する事故が起きたのは2010年6月。関係者の過失責任を問う捜査は長期化し、静岡地裁が刑事処分を決めるまでには4年7カ月を要した。業務上過失致死の罪に問われた同施設元所長の檀野清司被告(57)＝東京都＝の公判は3月に始まったばかりだ。

は午前中に雨が午後には大雨な意図が出ていた判断については報告令時の規定でなく、天候状態を認識しながら可容れ残りの移行後も訓練を重ねていくと思っていた」と話した。事故当日の現場付近

捜査長期化 公判は3月に開始

- 【浜名湖・ボート転覆事故経過】
- 6月18日 浜名湖で県立三ヶ日青年の家(浜松市北区)のボートが転覆し、野外体験合宿中だった豊橋市立章南中の西野花菜さん＝当時(12)＝が死亡する事故が発生
 - 1月27日 国の運輸安全委員会が事故の調査報告書をまとめ、ボートをえい航した施設所長(当時)の知識・経験不足を指摘。県教委や指定管理者(同)に指導マニュアルの作成などを勧告
 - 5月1日 西野さんの両親が損害賠償を求めて県と豊橋市、指定管理者を提訴。同年内に和解が成立
 - 2月12日 細江署と県警が業務上過失致死容疑で所長ら6人を静岡地検浜松支部に書類送致
 - 3月26日 横浜地方海難審判所が事故をめぐる海難審判で、所長に小型船舶操縦士の業務停止2カ月の裁決を言い渡す
 - 1月28日 静岡地検が業務上過失致死罪で所長を在宅起訴し、残る5人の不起訴処分(嫌疑不十分)を決定
 - 3月26日 静岡地裁で所長の初公判。所長は起訴内容を認める。弁護人は所長に加えて学校関係者らも含めた過失の競合を主張
 - 4月24日 第2回公判。冒頭陳述で検察側は所長の注意義務違反を重ねて指摘
 - 6月5日 第3回公判。西野花菜さんのボートに同乗していた元男性教諭の証人尋問
 - 同17日 第4回公判。所長に引き継ぎをした県営時代の元男性所長の証人尋問

国の運輸安全委員会は12年1月、ボートをえい航した檀野被告の知識・経験不足や、気